

### 第25号

平成26年4月1日号



_		•
_	**************************************	

● 農業委員会活動報告	
■ 市・議会へ建議書提出・	2
■ 農業委員会委員研修会·	3
● 農業委員会からのお	知らせ
■ 新たな農業政策	······ 4 • 5
■ 農作業標準賃金表	6

### 地域農業情報

■ 農業したいまち栗原	8
■ 法士ごえつ、 ヘルモリ	0

▮ 直売所でみ~つけた!・

志波姫地区の農業生産法人「サンアグリしわひめ」 大「サンアグリしわひめ」 では、トマトの収穫をおこ なっていました。寒い外と 比べ、約22℃で調整された 暖かいハウスの中では、赤 く熟れているトマトが一面 く熟れているトマトが一面 く熟れているトマトが一面 がるようでした。 いるようでした。 む後、当日中に市場へ出荷 されます。

## 栗原市・栗原市議会へ建議書を提出

# 指定廃棄物最終処分場について市長より説明

1月30日(木)/栗原市役所金成庁舎・市長室・議長室

処分場建設の県内3箇所の候補地に、 東京電力福島第一原発事故によって発生した「指定廃 (稲わら、汚泥等の高濃度放射性廃棄物 農業委員の総意で建設反対を決議しまし 栗原市も選定され の最終

れることになれば、 る水は、 栗駒山は栗原市のシンボルであり、 栗原市民の命の源であり、 風評被害等により栗原市の基幹産業 最終処分場が建設さ 栗駒山から流れ 出

である第一次産業 て建設に強く反対 容認できないとし ることから、 が深刻な打撃を被 到底



総会後に市長を招いて、 ▶市長建議の後、市議会にも建議 候補地に選定されたこと

a以上あることが、農地を取得できる要件

に対する市長の考えを聞きました。

するものです。

ことは明白であり、 ない状況を説明したいと話しました。 えるのであれば、 大小多くの崩落地があることなどから、適地でない 市長は、二度の大震災で甚大な被害を受けたこと、 国の調査を正式に行い、 候補地の3市町が足並みをそろ 建設でき

▶市長を招き説明をいただく

月3日に市・市議会へ提出しました。

農業委員会では、

処分場建設反対の建議書を、

2

ました。

## 平成26年第2回栗原市農業委員会総会 標準賃金や下限面積を決定

3月14日(金)/栗原市役所金成庁舎

審議し、 と農作業標準賃金、 平成26年度の栗原市農業委員会事業計 決定しました。 及び下限面積につい 7 画

盛り込みました。 の事業展開に積極的に協力していくことを 処理場建設に反対及び、 としましたが、今年度はさらに指定廃棄物 反対及び、遊休農地の対策に取り組むこと 事業計画は前年度と同様にTPP参加に 農地中間管理機構

本紙の6ページで公開しております。 関係団体と協議した内容で決定されました。 下限面積については、 農作業標準賃金については、 農業経営面積が50 関係者及び

実情を勘案し、 されていましたが、 原市の場合は地域の になっています。 遊休農地率が低いた 地区では10aと設定 しないことに決定し 10 a のまま変更 花山 栗

▲総会のようす



みんなで、 読もう ! 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月600円(送料込) 栗原市農業委員会事務局まで 42-1239 お申し込みは・お問い合わせは、 電話

## 第2回女性農業委員等研修会 先進地として事例発表

2月6日(木)/ホテル大観荘(松島町)

県内各地から

ました。講義・ 性農業委員が参 四十名ほどの女 加して開催され 討議

葉優子委員が で事例報告とし て、栗原市の千 「女性農業者の



があり、 講演の後、

その中

▶発表する千葉優子委員

問も様々出されました。 して、関心が持たれ、活動の運営方法等質 て発表する機会を得ました。 つどい」につい 先進地活動と

どを報告しました。 やテーマの設定、役割分担、 この女性農業者のつどいを企画した背景 方法、 意義な

そ出来たことだと改めて思いました。」と語 りました。 を再認識でき、 この事例発表を通して、 千葉委員は、 今の女性農業委員だからこ 「まだ三回目でありますが つどいの持つ意義

## 第2回農業経営セミナー 農業経営を研修

2月14日(金)/職業訓練センター(大崎市)

りました。 として、経営分析についてのセミナーがあ 士(農業経営診断士)の本田茂さんを講師 認定農業者等を対象にし、中小企業診断

得られるといいます。 からの信用性が増すこと等、多くの効果が 売上増加や経費削減意識の向上や外部機関 あると話されていました。表の作成により、 めた「資金繰り表」の作成が、まず重要で 収入や支出の予定、残高を月ごとにまと

から経営分析し、 また、決算書

研修してきまし つことについて

析が経営に役立 できるなど、分 健全性の確認が

が大切と話され 字と向き合い、 分析していく事



▶講師による説明

ました。

## 栗原市農業委員会委員研修会 市内農業生産法人を視察

3月14日(金)/有限会社 耕佑

ました。 迫地区にある有限会社耕佑で研修を行

培し、 げています。 業員で経営しています。 耕佑では水耕栽培にも取り組み、 各ハウスに責任者をおき、 サンチュ、みつば、 年間約1億6千万円の売り上げを上 品目毎にハウスを分けて栽培 水菜の4種類を栽 約30人の従 サラダ

栽培は地下水を循環し、 利用しているとのことです 成分や水温を調

リウム野菜の栽培 だといいます。ま ぎやすく、 えられることなど、 方々のニーズに応 が可能で、病気の 整することで低カ た、水の成分を調 味がまろやか 清潔であることや、



▶説明をうける委員

とのことです。

まだまだ発展の 水耕栽培は土耕と比べ、雑菌の繁殖を防 えぐみがな

養者年金に加入しましょう ! 農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

### (1) 農地中間管理機構の創設

### 借受け

### 農地中間管理機構

- ①農地利用を整理し、集約化の必要がある場合、借り受けを行う ②担い手がまとまりのある形で利用できるよう配慮して貸付け

受け手

	地域集積協力金	経営転換協力金	耕作者集積協力金
対象者	市町村内の地域(農業振興地域の区域内の農地)	機構に貸付を行い、 「経営転換する農業者」、 「リタイアする農業者」、 「農地の相続人」	機構貸受農地等に隣接する農地で、「農地を機構に貸し付けた所有者」、「所有者が農地を機構に貸し付けた場合の耕作者」
要件	地域内農地を一定割合以上、 機構に貸付	全農地を10年以上機構に貸し付け、受け手に貸し付けられる	対象農地を10年以上機構に貸し付け、受け手に貸し付けられる
交付 単価	2割超5割以下:2万円/10a 5割超8割以下:2.8万円/10a 8割超:3.6万円/10a (平成26・27年度までの単価)	0.5ha 以下:30 万円 / 戸 0.5ha 超 2ha 以下:50 万円 / 戸 2ha 超え:70 万円 / 戸	2万円 /10a (平成26年度の単価)

### (2) 経営所得安定対策の見直し

生産コストと販売額の差に相当する額が直接交付されます。

### 米の直接支払交付金

						寸/ 10a
	交	付	単	i fi	EÍ	
現行	7	26年産	米	7	30年	産米
15,000	5/	7,500	0	4/	廃	止

### 米価変動補填交付金

現行	26 年 産 米
10割補填	廃止 26年産に限り、緩和策あり

### 畑作物の直接支払交付金

### 【交付対象者】

対象作物を生産し、販売する農家・集落営農

### 【平均交付単価(全国一律)】

作物	平 均	交 付 🖟	単 価
TF 初	現 行		見直し後
大 豆	11,310円 /60kg		11,660円/60kg
そば	15,200円 /45kg		13,030円/45kg
なたね	8,470円 /60kg		9,640円/60kg

みんなで、読もう! 全国農業新聞 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月600円(送料込)

お申し込みは・お問い合わせは、栗原市農業委員会事務局まで 電話 42-1239

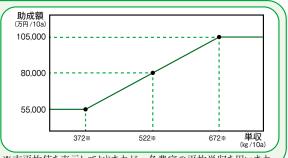
### (3) 水田フル活用と米政策の見直し

水田で麦などの作物を生産する農業者に交付金を直接交付します。

### 戦略作物助成

(単位:円/10a)

			(年世·门/ 10 a)
対象作物	交	付	単 価
N 家作物	現行		見直し後
麦、大豆、飼料作物	35,000		35,000
飼料用米、米粉用米	80,000		数量払い
WCS用稲	80,000		80,000
加工用米	20,000		20,000
ソバ、ナタネ	20,000		産地交付金へ



※市平均値を表示しておりますが、各農家の平均単収を用います。

### 産地交付金

栗原市農業再生協議会で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づき、助成します。 これまでの産地資金と比較し配分額が上乗せされます。

### 【宮城県における活用方針】

加工用米への助成 フル活用ビジョンの担い手 が対象になる予定

### 【栗原市における活用方針】

- 団地化や地域振興作物への助成
- 低コストや品質向上の取組みに対する助成
- 畑地における麦、大豆等の戦略作物への助成
- 備蓄米、そば、なたねへの助成

### (4) 日本型直接支払制度の創設

共同で取り組む農地や水路、農道などの維持管理活動の支援です。 26年度は予算措置、27年度から法律に基づき実施されます。 (新たに取り組みたい地区は産業経済部農業政策推進室までご連絡下さい。)

### 農地維持支払



多面的機能を支える地域の共同活動 を支援

農地法面の草刈り、水路の泥上げ等 の保全活動など

### 資源向上支払



地域資源の質的向上を図る共同活動を 支援します。

(共同活動) 水路、農道等の軽微な補修 (長寿命化) 未舗装農道を舗装 など

### 交付単価(国と地方公共団体の合計額)

(単位:円/10a)

	①農地維持支払	②資源向上支払 (共同活動)	③資源向上支払 (長寿命化)	①と②に 取り組む	①、②及び③に 取り組む
田	3,000	2,400	4,400	5,400	9,200
畑	2,000	1,440	2,000	3,440	5,080
草地	250	240	400	490	830

※現行の農地・水保全管理支払の5年以上継続地区については、従来の農地・水保全管理支払と同様75%単価が適用されます。

この内容は3月14日現在の情報について、概要をまとめたものになります。

今後制度の詳細が示されていきますので、**詳細及び最新の情報については確認をお願い** いたします。

### 農業者年金に加入しましょう! 農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 電話 42-1239

### 平成26年度 票原市農作業標準賃金表

平成26年度の農作業標準賃金並びに労働賃金の標準額について、関係者及び関係団体と協議し 下記のとおり設定しました。農作業の受委託をされる際の、お互いの目安としてご利用ください。

1	作業名	,	作業種別	作業単位	ほ 返画等	標 準 賃 金 (消費税込み)	作業内容等	
堆月	把運搬散	布	マニアスプレッター	10a	_	4,300円	積込運搬含む (1t 散布の場合)	
機相	械肥料散	布	ブロードキャスター	10a	_	1,200円		
畦	畔 塗	Ŋ	専 用 機 械	1 m	_	40円	片側の盛土	
					50a 未満	6,000円		
耕		起	トラクター	10a	50a 以上	5,700円		
					_	9,700円	春・秋セット耕起料金	
/15			, ,		50a 未満	6,700円		
代	か	<b>き</b>	トラクター	10a	50a 以上	6,100円	田植が出来る状態まで	
			1616 1-1- 1-1	1.0	50a 未満	6,100円	t/  0.2 (#A.+.+)	
		_	機 械 植	10a	50a 以上	5,800円	植付のみ(苗含まず)	
	植	え	側条施肥	4.0	50a 未満	7,400円	4±/4 0 7. (# PRIVI 6	
			機械植	10a	50a 以上	6,600円	植付のみ(苗・肥料含まず)	
苗		代		1箱	_	680円	苗運搬含まず	
肥	料散	布	背負動力散布機	10a	_	860円	追肥散布	
薬	剤 散	布	背負動力散布機	10a	_	990円	ホース散布	
溝	切	Ŋ	専 用 機 械	1 m	_	5円		
			バインダー	10a	_	8,000円	刈取りのみ (紐代含む)	
		<b>刈 り</b> コンバイン (刈 放 し)		10a 区画	17,500円	如军机会士士		
稲	ĮΙ			コンバイン	10a	30a 区画	16,500円	籾運搬含まず 結束は 2,000 円増し
				ן ( אנו ניא )   		50a 区画 以上	15,500円	(紐代含む)
					結束なし	8,100円	運転手1人、籾運搬含まず	
脱	榖 及	び	ハーベスタ	10a	結束あり	9,200円	運転手1人、籾運搬含まず (紐代含む)	
乾	燥調	製	乾燥	1俵(60kg)	_	940円	生籾	
			調製	1俵(60kg)	_	630円	籾摺り	
#	VII	ŋ	ディスクモア	10a	_	3,100円	刈放し	
草	ĮΙ	ט	フレールモア	10a	_	4,100円	細断	
わら	う・牧草収	集	ジャイロレーキ	10a	_	1,800円		
ゎ	ら・牧		ロールベーラー	10a	_	5,100円	積みあげ・運搬は含まない 1個単価1,000円(1 m×1 m)	
梱		包	ヘイベーラー	10a	_	5,100円	積みあげ・運搬は含まない 1個単価210円(10a当り25個)	
ラ	ッピン	グ	ベールラッパー	1個	_	1,000円	1 m × 1 m	
賃		金	普通作業	1 ⊟	_	6,900円	実働 8 時間、男女同額 賃金は、消費税の対象にはなり	
貝		गर	オペレーター作業	1 🖯	_	12,700円	見並は、	

<sup>※</sup> 消費税(地方消費税含む)は8%で計算しています。

### 栗原市農業委員会

問い合わせ 栗原市農業委員会事務局 **2** 42−1239

<sup>※</sup> この表は、目安となる「標準的な額」を定めたものです。実際の作業料金を決める場合は、地域の実情 や圃場の条件等(未整理地、湿田、山間地、作業内容等)に合わせて、委託者と受託者で話し合い決めて ください。

### 「農業者年金現況届」 は忘れずに提出を

### 現況届とは?

年金を受給する資格をもっているかを年1回確認するための届け出 になります。

本人が署名・記入をして農業委員会事務局か各総合支所まで提出く ださい。

※経営移譲年金を受給されている方は、農業を再開していないか、申告等の諸名義が 経営移譲の相手方になっているかの確認後提出ください。

### 5月下旬

農業者年金基金から用紙が送付されます



### 6月末締め切り

民サービス課産業建設係まで提出する

### 提出しないと・・・

年金の支払いが差し止められる ことがあります。

具体的には11月の支払より提出 がなされるまでの間、停止になり ます。

市農業委員会事務局または各総合支所市

通常の転用許

第三者から農地を売買

申請にあたっては、

自らの農地を転用する場合、

または

賃貸借等を行った上で転用する場合

で手続きが異なります。

制限されていること等の許可基準があります。

その上部に発電設備を設置するもの

他の地目として恒久的に使用するため、

優良農地で

0

転用

よるものと一 都道府県知事等から許 農地法に基づ 時転用によるも 転 用 0 可されますが、 申 のがあります。 請手続きが必要となり

通常の転用に

な手続きが必要ですか 農地

太陽光発電設備を設置

したい

0) です

が

Ō

よう

です。 農地で営農しながら、一時転用による許可

毎年、

手続きを行うこと、 の基準も設けられています。 利用期間は3年間と定められており、 農作物の生産収量を報告するなど 期間満了時に更 新

※農地 農業委員会へご相談願 へ の 太陽光発電設備 ます。 の設置をお考えの



### ▲高橋さん(左から3番目)とご両親(左2人)

農家にて研修を行った後、短期大学を卒業後、地元の け、で 理 季節に合わせ、 絶 13 0 えませんが、 るとのことでした。 や適期作業を大切に 高 これまでは花卉栽培が主 両 営で、 司さんは 騰等といった気苦労は 11年から就農しました。 荷してい いしても た稲作経営の からは父が取り 他、 光熱費や資材費 旧宮城 3人 適度な水管 生育時期や 移譲を受 0 **%**県農業 主に春 方に 直 組 売

### 司さん 農業者です。 に花卉栽培に取り 子供2人の6人家族で、 柳 (37) は、 三田 新たに取り 鳥地 両 区 親、 の高橋敦 組む認定 主 で行 す。 ゴー 11 ウ 現 ス7 在の

ド等を栽培してい パンジーやマリ 棟(約2000 経営は花の栽培を m²

### 栗駒の里パンエ房 おふくろさん ☎090-7799-1975 (佐藤博泰)

栗駒ダムから約1.5km南東、栗駒滝ノ原地 区にある「おふくろさん」では、米粉を使用 )たパンを販売しています。

定年を迎えた平均69歳のメンバー6人で、 米粉の香りのするパン作りを目指し、良い食 感を得るため、粉の粗細のバランスを研究し、 現在のパンに至ったといいます。

注文は前日までの予約制となっており、パ ンを焼く曜日は月・水・金(米粉うどん製造 は火・木・土)になっています。千円以上の 注文で10km以内の範囲であれば、午後に配 達を行います。

また、自治会等に米粉うどん作りの体験教

室の講師として呼ばれることもあるそうです。 モチモチの焼きたてパンを味わってみませ んか。

▶この看板が目印です



の問題に直面と、未だに農畜産指定廃棄物最終処分場の候補地 きれない今日この頃です。 の甚大なる被害と不安を拭 絆と底力で栗原の力強 の疑念を払拭できない今、 本地域においては放射能汚染 そして日 立に向けて歩んでいかなく な大雪による農業施設 ならないと思う所です。 大転 本列島を襲 稅 点い農業 ひった 0 や作 強 記

### 編集委員の紹介

在の委員を紹介します。に選出されますので、別期です。編集委員も新り 太 参 木 **員** 委 副委員長】 白石 千鈴佐佐狩狩及田木藤竹野野川 康**長** 嘉初正春一榮善正正彦男敏江安一典行一 劕 (瀬志金若一栗花鶯高清水 ) (本金若一栗花鶯高清水 ) (本金若一栗花鶯高清水 ) (本金若一栗花鶯高清水 若 べも 新改 (読み順 館 現た選

■2014(平成26)年4月1日発行 ■発行/栗原市農業委員会 第25号 ■編集/栗原市農業委員会だより編集委員会 〒989-5171 宮城県栗原市金成沢辺町沖200番地 Tel(0228)42-1239 Fax(0228)42-1249 電子メール nogyoiinkai@kuriharacity.jp

編

흻

缀

龍